



狹しい人

R-18
ADULT ONLY



俺はその日
ほんのうっかりで

抑制剤を
飲み忘れて
しまったんだ



噛んで



……

兄貴……





身体が頸から
作り替えられて
いくのを感じる

一生消えない傷
互いを縛りつける
呪いとなったのを
オメガの本能か
すぐに理解した



この人は俺だけの
肉竿になって

俺はこの人だけの
肉壺になったんだ

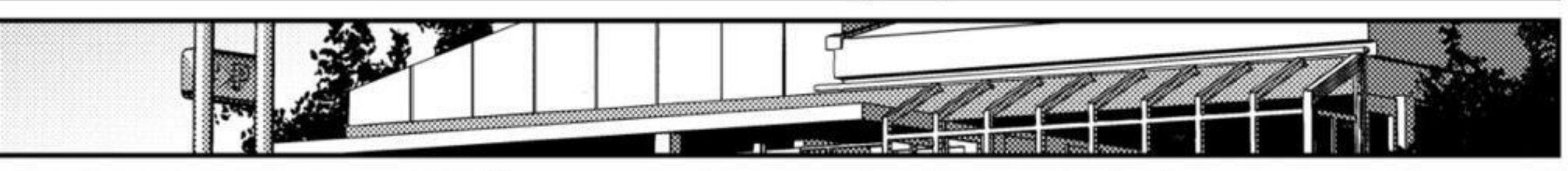


好き

兄ちゃん



…ああ



おう

おっちゃん



そんで

あのおっさんと
番になっちゃったワケエ?



何がじゃねえし!!

何が

ハア——
ホント意味
ワカンネ——!!

まあな



番うって意味

お前って実は
いい奴だよな…

相手が実の兄貴
ってのは今更だから
別にいいんだけどさ

ちやんと
分かってる?

一噛みで互いの一生を
縛り付ける契約

あのおっさん

自分から玄弥が
欲しい言葉の一つ
くれたって話
聞いたことないよ

お前と兄貴の
話って、お前からの
ものばかりって
気付いてた？

特にオメガにとっては
取り消しも効かない
呪いみたいに言う奴も
いるくらいだ

玄弥が後悔
しないなら
それでいい……って

俺も
言ってるやん
けどさ……





俺が噛んでと頼めば兄貴は絶対に噛んでくれると俺は知っていた



ホントに噛んでくれると思っとなかった：なんて

大嘘だ



記憶も曖昧な程昔からだ俺がどんな我儘を癪癪と共に騒いだって

兄貴はいつだってどんな時だって叶えてくれた



俺の第二性がオメガと発覚した時

アルファである兄貴が実家を離れて暮らすと提案してきた所を俺が泣いて拒否したものだから

ツたく…
分かったよ

結局今からでも
実家から通勤
させてしまっている

その優しさに
つけこんでいくうちに

兄ちゃん
手繋いで!

一緒に寝て

キスして

俺の甘えた欲求は
次第に暴走していった





善逸も
気付いてん
だろうな

俺が嘘を
ついてる事くらい

ずりいな…

少しの
誤魔化しも
通用しない

なんだソレ
俺にもくれよ

それさえ
あれば

俺も兄貴の事が
もっと分かるのに

あ！玄兄！

おかえり
なさい！





おかえり

よオ

玄にい
おかえり!



ホントにずるいのは
いったい誰だよ



ただいま



...





兄貴の気持ち
無視して

俺

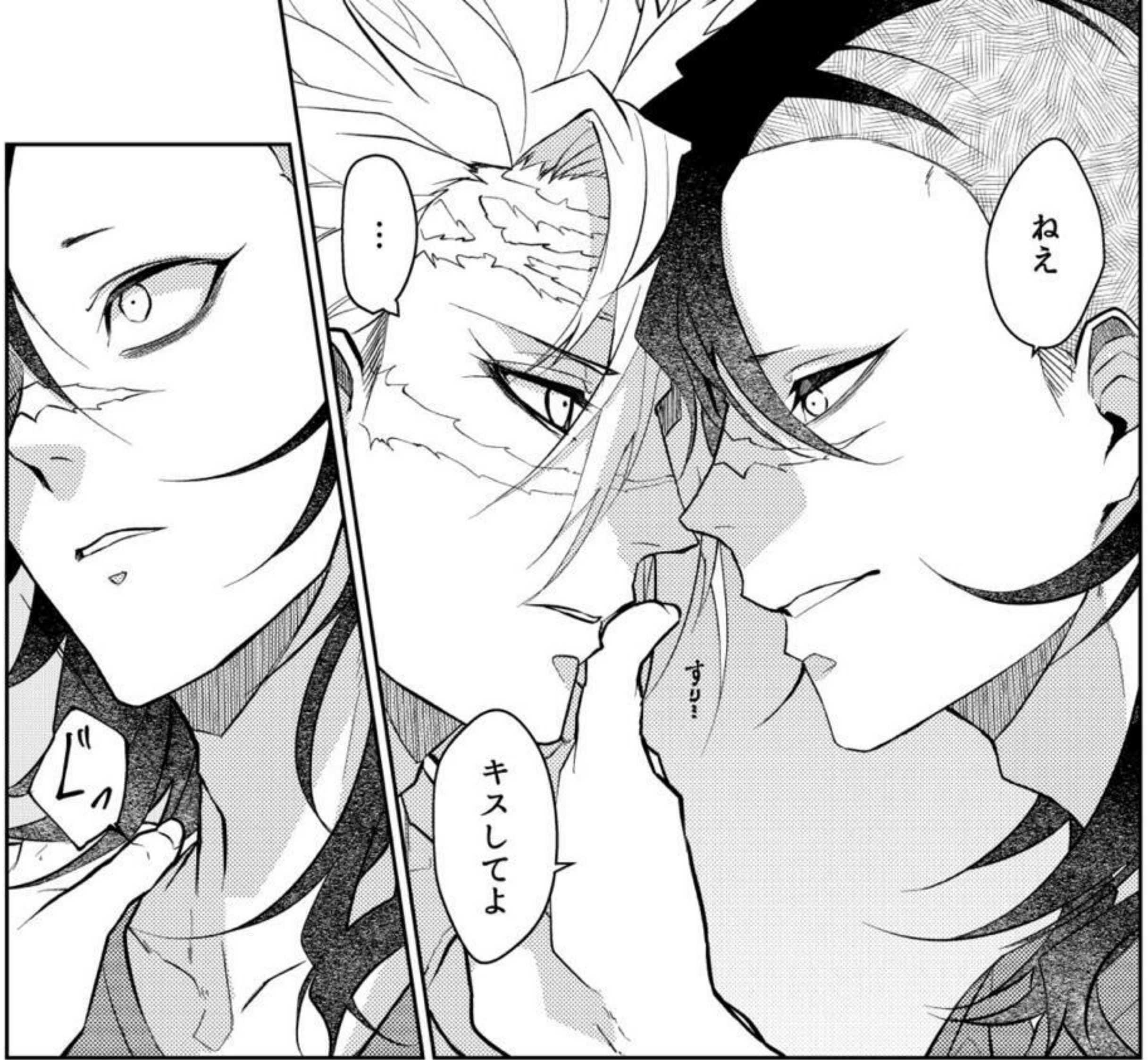
お願い
しちゃった

いらねえ心配
すんじゃねえ

ホントに嫌なら
ラット中もお前
ぶん殴って逃げるわ

嘔吐
き

俺が頼んだら何でも
してくれちやう癖に



ねえ

キスしてよ

すし...



ほら、
こうやって

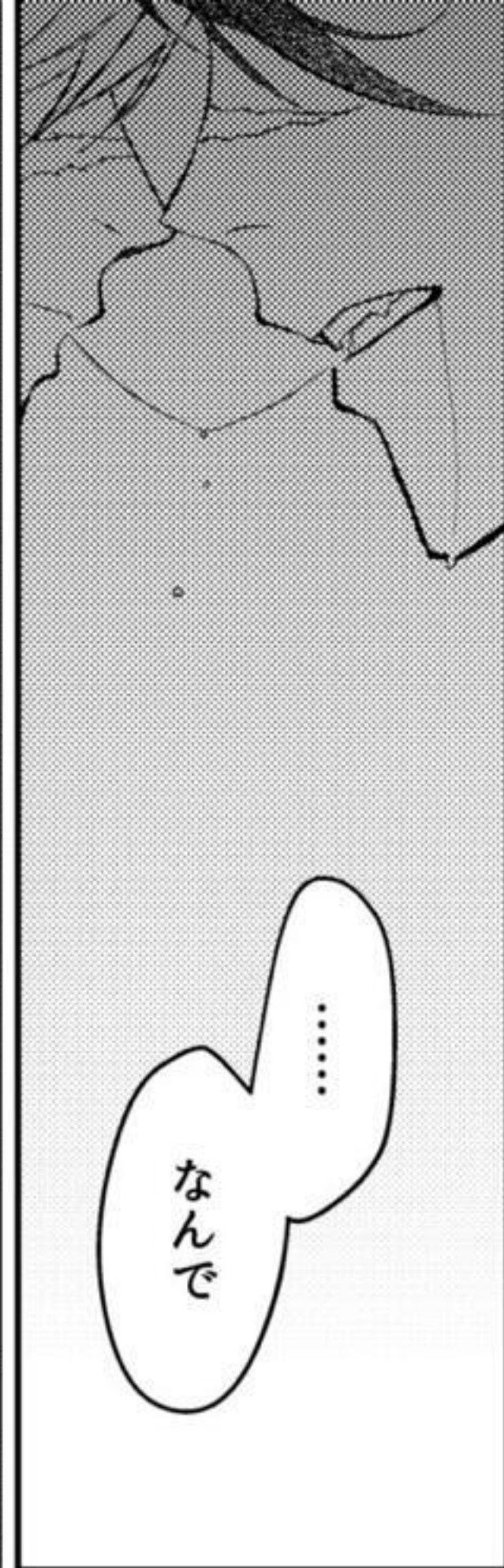
一言頼めば
嫌な顔一つせず
やっちやうんだ



……ここまで
してくれるのに

なんで

何も言っ
てくれねえの



……

なんで



ねえ
言っ
てよ

言っ
てよオ……



ごめん
なア
玄弥……

お前
そんな
に
不安
だっ
た
ん
だ
な
ア

ア
ド

ア
ド

お前が怖がる事
なんざ一つもねえ

兄ちゃんはな

世界の何と比べても
お前が一等可愛くて
仕方ねえんだよ

ほら

分かるだろ

フツツ

兄ちゃんは
お前の言う事なら
なんでも叶えて
やりたくなるし

実際に叶えて
やれたのは
俺達がきつと…

運命の番

…でも、兄ちゃん
俺から離れようと
した事だつて…

そりゃあ…
俺たちは血の繋がった
兄弟だからな

つてやつ
だからだ

兄弟でアルファと
オメガ...

それが運命の番だと
主張しても世間は
優しく見守っちゃ
くれねエ

ヒュッ

いいんだ
謝んな

ごめん
なさい...

ごめん
なさい

お、俺
ダメなんだ

兄ちゃんが
いないと、もう

ワガママしか
言えないのに

番になれば
ずっと一緒に
いられるからって

たった
それだけで...







また明日

じゃあな善逸





……
多分あいつが
心配してる事には
ならない
むしろあの
兄貴の方が
……

でもあいつが
何も言わないから
俺から言う事じゃ
ないんだと思う

気付く事が
一生なければ
それが一番
幸福な事もある




噛んで

……



ようやく
手に入った



玄弥から俺を求めよう
甘やかし尽くした

玄弥の罪悪感の
奥深くまで俺で満たして

全ては自分が
望んだ事なのだ

それでいて
俺は常に優しい兄で
いられるように

可哀想な弟

生まれた時から
お前の運命はイカれた
兄貴のものだった事に
終ぞ気付かねエままで

お前は自分から
狂わした張本人の
腕の中に飛び込んで
きちまってなア





志の外に与るしいのは
一体誰かよ